

賃銀増額等に就て従業員

諸君に告ぐ

(大正十年十月十二日述)

専務取締役 今岡純一郎

近頃労働争議が頻々としてあちらこちらの工場に起りましたが、その経過を見ますと甚だ遺憾な點があるやうに思はれるのであります、どんな事情があつたのか知りませんが、怠業、罷業、示威行列、さては暴行、脅迫までが行はれて、會社はさて措き國家社會にまで、迷惑をかけ、肝腎の従業員までが尠からの損失を招いたと云ふことは、何と云ふ情けないことであつたてせう、しかもこれが爲め國家の産業の上に大きな損害を與へたと云ふことは、誠に見のがすことの出来ないことだと考へるのであります。